

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 31 日作成)

委員会名	構造体コンクリート研究小委員会	主 査 名：梶田佳寛
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2004 年 4 月 ～2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	1987 年に刊行された「構造体コンクリート強度に関する研究の動向と問題点」は現在、絶版となっているが、再販の要望が強いため、その内容を見直しするとともに最新の研究成果を取り入れ、同書の改定版「構造体コンクリートの品質に関する研究の動向と問題点」を作成する。 2004 年度：1987 年以降の文献収集・整理と上記書籍の骨子（目次）の見直し 2005 年度：上記書籍の執筆・刊行	
委員構成 (委員名 (所属))	梶田佳寛 (宇都宮大学), 杉山 央 (建築研究所), 池永博威 (千葉工業大学), 兼松 学 (東京大学), 神代泰道 ((株)大林組), 佐藤幸恵 (宇都宮大学), 陣内浩 (大成建設 (株)), 鈴木澄江 ((財)建材試験センター), 玉井孝幸 ((有)建築調査技術コンサルタンツ), 中田善久 (ものつくり大学), 浜 幸雄 (室蘭工業大学), 林静雄 (東京工業大学) 三上藤美 ((株)東邦アーステック静岡一級建築士事務所), 湯浅 昇 (日本大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2004 年度予算	150,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回：7 月 16 日・8 名, 第 2 回：8 月 24 日・8 名, 第 3 回：10 月 6 日・8 名, 第 4 回：11 月 8 日・9 名, 第 5 回：12 月 9 日・12 名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 1. 「構造体コンクリート強度に関する研究の動向と問題点」の見直しおよび問題点抽出 1987 年版「構造体コンクリート強度に関する研究の動向と問題点」には、刊行後に開発され、普及した高強度コンクリートや、高性能 AE 減水剤などの材料・施工技術が取り入れられていない。また、建築基準法の改正も行われたため、それらの現状や動向を把握する必要がある。関連文献・資料を広範囲に調査した。 2. 「構造体コンクリート強度に関する研究の動向と問題点」課題抽出および検討 旧版目次の見直しを行い、改定版目次案を作成し、今後の作成方針を構築しつつある。
	委員会 HP アドレス： なし
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) ほぼ当初の計画通りに進行している。
その他評価すべき事項	